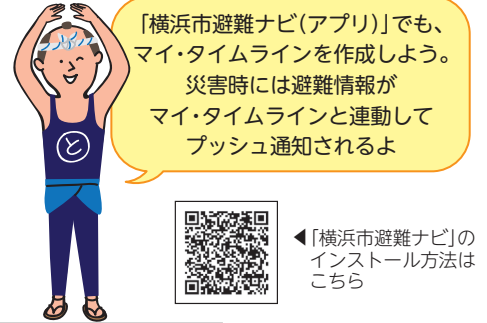


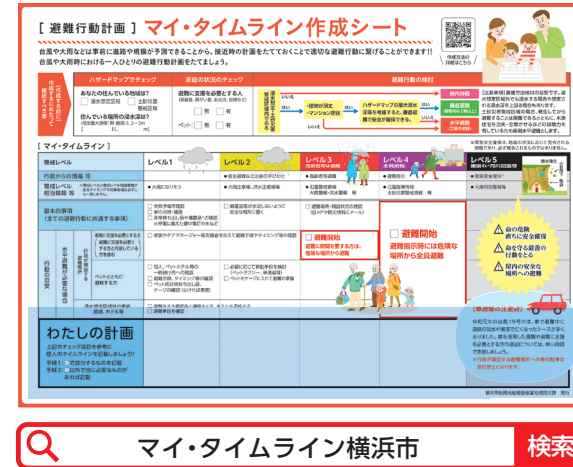


「もしも…」に備える!! 3つのポイントを知って 避難行動計画

マイ・タイムラインを作成しよう!



近年、**台風や豪雨**による被害は甚大化しています。台風や雨は進路や規模が予測できるため、「自らの命は自ら守る」意識を持ち、事前に一人ひとりの状況に合わせた避難行動の計画をたてることが大切です。マイ・タイムラインは一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて時系列で整理した自分自身の避難行動計画です。次の3つのポイントを踏まえて作成してみましょう。



わたしの計画

上記のチェック項目を参考に
個人のタイムラインを記載しましょう!!

手順1: ☐で該当するものを記載

手順2: ☐以外で他に必要なものがあれば記載

● てんきよほうと
ハザードマップを
みて これからの
こうどうを
かくにん!!

● リュックの
なかみを
かくにん!!

● んれてもいい
うごきやすい
ふくにきがえる
● けいたいでんわを
じゅうでん



ポイント① 自分の身の周りの危険な場所はどこかを知る!

ハザードマップ

ハザードマップは、災害発生時に被害が発生する可能性のある区域を地図に表したものです。ハザードマップには、**洪水 内水 土砂災害**の3種類があります。

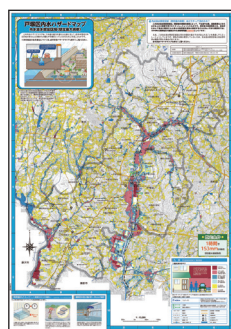
洪水ハザードマップ

河川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域や深さが分かります。



内水ハザードマップ

下水道管や水路から水があふれた場合に、浸水が想定される区域や深さが分かります。



土砂災害ハザードマップ

がけ崩れが発生した場合に、被害を受ける恐れのある区域が分かります。



3つのハザードマップをより詳細に見られる!!

わいわい防災マップ

「わいわい防災マップ」ならWEBでさまざまなハザードマップを確認できます。紙のハザードマップでは細かく見づらい部分も、拡大して確認することができます。



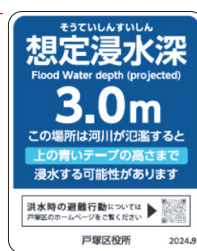
わいわい防災マップ

検索

電柱にも!

まるごとまちごとハザードマップ

区内の洪水浸水想定区域では、電柱にその地点の想定浸水深など、水害に関する情報を表示する「まるごとまちごとハザードマップ」を設置しています。大雨のとき、住んでいる地域がどのくらい浸水するのか実際に目で見てみましょう。



ポイント② 自分の取るべき行動を知る!

台風や大雨時に、命を守るための行動は人それぞれ異なります。大雨が降っている中、自宅の外に出ることはかえって危険な場合も。自分や家族にとって適切な避難行動を確認しておきましょう。

洪水・内水ハザードチェック

ハザードマップ上で色がついている
(浸水想定区域である)

建物が頑丈
(木造家屋は倒壊する)
おそれがあります
マンションに居住

建物内の上の階は、
浸水する深さより
高い位置にある

垂直避難

建物内の
2階以上の
部屋に移動

土砂災害ハザードチェック

ハザードマップ上で色がついている
(土砂災害警戒区域である)

いいえ

いいえ

水平避難 (立退き避難)

安全な場所にあるホテル、親戚宅や避難場所
に移動

屋内待機

自宅待機

土砂災害ハザードチェック

ハザードマップ上で色がついている
(土砂災害警戒区域である)

いいえ

いいえ

水平避難 (立退き避難)

土砂災害は住宅を流失させる危険性があるため、原則水平避難

安全な場所にあるホテル、親戚宅や避難場所
に移動

ポイント③ 自分の避難のタイミングを知る!

避難情報は、5段階の「警戒レベル」を用いて発表します。災害が想定されている区域などでは、避難に時間を要する人は警戒レベル3、警戒レベル4になったら全員避難を開始してください。それ以外の区域でも周囲の状況に十分警戒して、必要に応じて避難行動をとりましょう。避難情報はテレビやラジオ、市が配信する「防災情報Eメール」や、市や区WEB、公式Xなども活用しましょう。

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3 相当情報	警戒レベル4 相当情報	警戒レベル5 相当情報
大雨になりそう 早期注意情報	大雨注意報 洪水注意報など	大雨・洪水警報 氾濫警戒情報 など	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 など	大雨特別警報 氾濫発生情報 など
心構えを高める	避難行動の確認	危険な場所から 高齢者などは 避難 避難に時間を 要する人は避難	危険な場所から 全員避難 安全な場所へ	災害発生・ 崖崩れ・河川氾濫 など 命の危険 直ちに安全確保!

スマートフォン・パソコンで

戸塚区公式X

今のうちにフォローを!
リアルタイムの情報を
入手できます。
※フォローしておくで自動的に情報が届きます。



横浜市防災情報ポータル

避難情報、避難場所
の開設状況などが
確認できます。



登録しておくと、気象情報や 河川水位などお知らせが自動で届く

横浜市防災情報Eメール



事前に確認しておこう!

風水害時に開設される区内
避難場所を確認しよう。



テレビで

dボタンによるデータ放送

テレビのリモコンの「d」ボタンを押すことで、画面上に災害情報を表示させて確認することができます。



ラジオで

エフエム戸塚 (83.7MHz)
や他のラジオ局により、
情報を確認できます。

